

厚労科研 辻井班（発達研修開発）

2) 2. 幼児の適応行動評定 TASP  
保育・指導要録のための発達評価シート

愛知東邦大学人間健康学部

高柳 伸哉

# TASP (Transitional Assessment Sheet for Preschoolers) 保育・指導要録のための発達評価シート

- ▶ 保育士・幼稚園教諭が作成する「保育記録」を体系化
- ▶ 保育の5領域（言葉・人間関係・環境・健康・表現）に沿った、対象児の具体的な行動を尋ねる129項目を、統計的手法により35項目に選別。
- ▶ 調査形式： 質問紙 他者評定式（保育士、幼稚園教諭など）
- ▶ 質問項目： 適応行動や不適切な行動の有無や程度の評価  
35項目 ○・△・×の3段階評定
- ▶ 特徴・活用： 短時間での実施が可能。行動の評定から、対象児の「できていること、困難なこと」の確認や、継続した実施により「成長が見られる面、学年が上がっても難しい面」を見出すこともできる。

# TASPの尺度構成

発達特性に応じた3指標7領域(35項目)で構成

①ADHD指標

多動・衝動性

不注意

②ASD指標

社会性困難

こだわり

言葉の遅れ

③DCD(発達性協調運動症)指標

微細運動困難

粗大運動困難

合成変数

外在化指標・・・ 落ち着き + 注意力

内在化指標・・・ 社会性+順応性+コミュニケーション+粗大運動

学業指標・・・ 注意力+コミュニケーション+微細運動

総合指標・・・ 7領域全ての合計

## <TASPの評定方法>

- 望ましい行動  
(適応行動)

いつもできる = ○

たまにできる = △

全くできない = ×

- 望ましくない行動  
(不適応行動)

全くしない = ○

たまにしてしまう = △

いつもしてしまう = ×

領域ごとに、各項目の「△の数」と「○の数×2」を算出して合計得点を出す。

→ Vineland-IIと類似

得点が高いほど、  
適応行動が多く  
不適切な行動が  
少ないことを表す。

落ち着き

1 静かに休息する

→【回答】○いつも静かに休息できている

○ △ ×

2 大きな声を出さない

○ 大きな声を出さない

△ 大きな声を出してしまうことがあり、注意をするなど配慮をすることがある

× 大きな声を出すことが頻繁にあり、その都度指導が必要である

○ △ ×

3 場面にふさわしくないことを言わない

○ 場面にふさわしくないことを言うようなことはない

△ 時々、場面にふさわしくないことを言うことがある

× 場面にふさわしくないことを頻繁に言うため、指導上の配慮が必要である

○ △ ×

4 他の子に手を出さない(たたく、噛む、押す)

→【回答】×よく他の子に手を出すことがある

○ △ ×

5 思い通りにならなくても我慢できる

○ 思い通りにならなくても気分を損ねない、もしくは損ねてもそれが目立たない

△ 思い通りにならなくても気分を損ねることがあるが、ある程度なだめれば機嫌が戻る

× 思い通りにならなくても気分を損ねると、なだめてもなかなか機嫌が戻らない

○ △ ×

6 周囲に配慮せず、自分中心の行動をすることはしない

○ 周囲に配慮せず、自分中心の行動をすることはしない

△ 周囲に配慮せず、自分中心の行動をすることが、多少(時々)ある

× 周囲に配慮せず、自分中心の行動をすることが、よくある

○ △ ×

TASPの回答例:

対象児について、  
できていること、  
できていないこと  
を具体的な行動  
で確認。

→支援すべき行動  
が分かりやすい。

△の数	<input type="text"/>
○の数	<input type="text"/> × 2 = <input type="text"/>
合計得点	<input type="text"/>

注 音 力

TASP判定結果の例:  
対象児の傾向について、  
視覚的に結果を示す。

学年3群×月齢4群(3ヶ月ごと)  
→ 12グループ別々に  
臨床水準を判定

### 架空事例: 年少男児

- ・落ち着きがなく、他児との関わりや相手や場に合わせる事が苦手な様子。
- ・会話はそれなりにでき、運動面は比較的できている。

領域	得点	判定		
		要配慮水準	境界水準	標準的水準
多動・不注意 関連特性	落ち着き		.	.
	注意力 (不注意)	.	.	.
対人社会性 関連特性	社会性		.	.
	順応性		.	.
運動 関連特性	コミュニケーション	.	.	.
	微細運動	.	.	.
	粗大運動	.	.	.

指標	得点	判定		
		要配慮水準	境界水準	標準的水準
外在化指標			.	.
内在化指標			.	.
学業指標 (注意力+コミュニケーション +微細運動)		.	.	.
総合指標			.	.

## TASPのまとめ

- 在籍する幼児を対象に、保育士・幼稚園教諭等が評価する質問紙
- 具体的な行動指標を用いているため、**できていること（適応行動）**と**できていないこと（支援課題）**を確認することができ、生活における子どもへの支援策の検討につながる。
- 従来の保育士・幼稚園教諭による対象児の主観的な評価に加え、同じ月齢帯の幼児における対象児の「**客観的な発達指標**」を算出し、発達を多面的に評価できる。
- 対象児の発達特性と行動特徴の把握を職員間で共有し、就学時に園から学校への引き継ぎ、情報伝達にも活用できる。

→ 情報共有、支援の引き継ぎ、小1プロブレム予防

## 引用文献

- 1) 辻井正次(監修) 2017 TASP保育・指導要録のための発達評価シート スペクトラム出版社